

第2章－3 中国の古典文明

1. 古代文明～殷・周・春秋戦国

(1). 古代文明

黄河文明・・・黄河流域の黄土地帯の新石器文明。豚・犬・鶏の飼育，粟の栽培。

BC 5千年紀 **仰韶**文化・・・**彩陶**（彩文土器）

BC 3千年紀 **竜山**文化・・・**黒陶**（黒色磨研土器）

長江文明・・・稲作文明圏の形成，^{かぼと}河姆渡遺跡など

(2). **殷** (BC.16c.～ 1027.BC)・・・確認された最古の王朝、青銅器文化

殷墟（＝殷後期の都）・・・河南省安陽市

多くの城郭都市（**邑**）を従える

甲骨文字・・・占いの結果を占いに使用した亀甲・獣骨に記す
神権政治・・・王は占いで神意を知り政治を行う

(3). **周** (1027～ 256.BC)・・・渭水盆地におこり、殷を滅ぼす。

西周（～ 771.BC）・・・首都 **鎬京**（西安）

※ **封建** 制度

王室の庶子や功臣を**封建**する（＝封土を与えて世襲させ、軍事・貢納の義務を負わせる）

血縁関係を基礎とした主従関係（⇒西欧や日本は個人の契約関係）

王 — **諸侯** — **卿**・**大夫**・**士**・・・ここまでが世襲の支配階級
血縁親族が“**宗族**”を形成，“**宗法**”によって身分秩序維持

BC.771 陝西方面から**犬戎**が侵入、鎬京陥落

BC.770 首都を **洛邑**（洛陽）に移す・・・**東周**（～ BC.256）

周王の権威は衰え、諸侯の分立割拠状態に

(4). 春秋・戦国時代

▶ **春秋** 時代（770～ 403.BC）・・・**覇者**＝諸侯同盟の盟主がしばしば出現

春秋の五覇・・・齊・桓公、晉・文公、楚・荘王、秦・穆公、宋・襄公（呉王・夫差、越王・勾践）

尊王攘夷（周王を尊び、異民族の侵入を防ぐ）をととなえつつ争う

▶ **戦国** 時代（403～ 221.BC）・・・各国とも王を称し周王を無視

BC.403 晋における**下剋上**。韓・魏・趙の自立。

戦国の七雄・・・**齊**・**楚**・**秦**・**燕**・**韓**・**魏**・**趙**

各国内部では中央集権化（官僚制、郡県制）

実力万能の時代（＝従来の支配階級が没落）→**諸子百家**

▼この時代の社会の変化

農業技術の進歩……鉄製農具、牛耕

鉄製農具以前……小世帯で独立生計営めず、同族集団の共同作業が必要



鉄器普及……小世帯独立・土地私有化、さらに商業発達で貧富の格差増大
→新興地主の出現 (→秦・漢時代の“豪族”)

商業の発達、青銅貨幣の使用……刀銭 (齊)、布銭 (韓・魏・趙)、蟻鼻銭 (楚)

(6). 諸子百家 ……実力の時代に現れた思想家たち

◇ 儒家

▶ 孔子 (551-479) ……言行録「論語」、著書「春秋」(魯国の歴史)

仁 = 「孝」「悌」といった家族道徳を基本とする普遍的な愛

礼 = 仁を表現する形式

法家的思想が主流になりつつあった時、伝統主義者として出現
秩序は各人によって自律的に守られなければならないと考えた。

▶ 孟子 (372-289) ……性善説、王道政治 (仁による政治)

▶ 荀子 (315-235) ……性悪説、よって礼の習得が必要

◇ 法家

▶ 商鞅 (390-338) ……秦の孝公に仕える、法治主義 = 法による秩序維持

▶ 韓非 (280-233) ……韓の王族、荀子門下、著書「韓非子」

▶ 李斯 (280-210) ……荀子門下、秦の始皇帝に仕え丞相となる

後から仕えた同門の韓非を中傷し投獄・自殺せしむ

◇ 道家 …… 老子 (?)、荘子 (BC.4c)

“無為自然” ……政治も無為の治が理想 (ただし“小国寡民”が条件)

◇ 墨家 …… 墨子 (480-386)

兼愛 (無差別の愛)、交利 (利の相互付与)、非攻 (侵略戦争否定)、薄葬

身分秩序に基づく道徳として儒家を批判、礼楽不用を説く

▽ 陰陽家 …… 鄒衍 (305-240)、陰陽・五行説

世界は5つの元素 (=木・火・土・金・水) と、陰・陽の対立により構成・変化する。

自然だけでなく政治・社会についても適用し呪術的傾向が強く、科学的思想とならず。

▽ 縦横家 ……外交政策 (2人とも失敗)

▶ 蘇秦 (?-317) ……BC.333 合従 に成功 = 秦以外の6国同盟

▶ 張儀 (?-309) ……BC.311 連衡 に成功 = 6国それぞれと秦の同盟

▽ 名家 …… 公孫竜 (320 ~ 250) 論理学、詭弁的 (ex. 「白馬は馬にあらず」)

“言葉 (名)” と “実体” の関係を分析しようとしていた

▽ 兵家 …… 「孫子兵法」 (孫武), 「呉子兵法」 (呉子)

2. 秦・漢

(1). 秦 (～206.BC) ……首都 咸陽 (西安の対岸)

西方伝来の鍛鉄^{たんてつ}の武器を中国で最初^{ちゅうてつ}に入手 (農具は鑄鉄)
BC.256 東周を滅ぼす

始皇帝 (嬴政…BC.247 秦王に即位、～210.BC) **法治主義を採用**
BC.221 全国統一、「皇帝」の称号を用い自ら始皇帝と称す

<内> { 郡県制 ……全国を皇帝直轄地とし36郡設置。封建制廃止。
焚書坑儒 ……伝統主義の儒家を弾圧
度量衡の統一、貨幣の統一 (半両銭)、文字の統一 (篆書)、車軌の統一
阿房宮、驪山陵 (その地下に「兵馬俑」) の造営

<外> BC.215/14 將軍蒙恬^{もうてん}、匈奴 を討伐し黄河北方を確保

“万里の長城” ……戦国期の諸国の長城を修復しつなぎ合わせる
(現存のもの大部分は明以降のもの。当時はもっと北のほうにあった。)

BC.210 始皇帝死、帝国崩壊

BC.209 陳勝・呉広 の乱……農民反乱 (「王侯将相寧有種乎」「燕雀安知鴻鵠之志哉」)

▶ 項羽 (楚の將軍)、劉邦 (庶民出身) ら挙兵

BC.206 劉邦が咸陽入城、秦滅亡。(直後に「鴻門之会」=項羽・劉邦会见)

BC.202 垓下の戦い……劉邦が項羽を破る。(「四面楚歌」)

(2). 漢 (前漢、202.BC～8.AD) ……首都 長安 (西安)

初代 高祖 (劉邦, 202-195.BC) ……郡国制 (直轄地は郡県制, 周辺部は封建制)

→ BC.154 呉楚七国の乱 ……諸侯の反乱 → 平定後、中央集権化

7代 武帝 (141～87.BC) = 漢の全盛期

<外> { 北……匈奴討伐 (前半は衛青・霍去病らの戦果、後半は蘇武・李陵らが捕虜に)
西……張騫 を大月氏国に派遣
→ シルクロード による東西交易・絹など輸出、ガラスなど工芸品輸入
東……BC.108 衛氏朝鮮 を滅ぼし4郡設置 (楽浪、玄菟、真番、臨屯)
南……BC.111 南越に9郡設置 (日南、南海 etc.)

<内> { 実質的に郡県制の全国化
儒学の官学化……董仲舒 による。BC.137 **五經博士** を設置。
※五經……「詩經」「書經」「易經」「春秋」「礼記」
官吏登用法……郷举里選
地方長官が儒学の徳目に優れた人材を推薦→豪族の子弟が推薦される。
財政再建策……成功せず
・塩、鉄、酒の専売
・均輸 (物資を多く産する所で買上げ、不足している所に転売)
・平準 (物資を多く産する時に買上げ、不足している時に転売)

※ 外戚 (皇后の一族)・宦官 (後宮に仕える去勢した男子下人) による権力闘争
=このあとも、王朝の末期症状にお決まりのパターン

- (3). 新 (AD.8 ~ 23) …… 王莽 (元帝の皇后王氏の一族) が帝位を奪う
神秘化した儒家思想利用、しかし周を理想とする政策は時代遅れ
- AD.18 赤眉の乱 …… 農民反乱
AD.22 劉玄・劉秀ら挙兵、豪族・農民反乱軍統合→翌年、王莽殺され新滅亡

(4). 後漢 (25 ~ 220) …… 首都 洛陽

初代 光武帝 (劉秀, 25 ~ 57) …… 豪族連合政権

- ▶ 初めは内政重視だったが、国力回復とともに対外積極策に
 - 北…48 頃、匈奴南北分裂 → 南匈奴を服属させ北匈奴を討つ
 - 西…西域都護 班超、50余国を服属させる
 - 97 班超の部下 甘英、大秦国 (ローマ) に派遣され、安息 (パルティア) を経て条支国に至る
 - 東…57 「倭奴国奉貢朝賀、光武賜以印綬」 → 志賀島の金印
 - 南…166 大秦王安敦 の使者が日南郡 (ヴェトナム) に来る
(マルクス・アウレリウス・アントニヌス)
- ▶ 外戚・宦官による権力闘争
166/69 党錮の禁 …… 宦官勢力が知識人らを弾圧し官界から一掃
- ▶ 184 黄巾 の乱…… 太平道の首領 張角 による農民反乱 (→「三国志」の時代へ)

(5). 漢代の文化

秦漢 400 年の統一による中国文化の基礎確立 (集大成の時代)

- ▶ 儒学…… 官学化で 訓詁学 (経典の字句解釈)、後漢末の 鄭玄 ら
- ▶ 歴史…… 正規の歴史書の形式として 紀伝体 (本紀、列伝からなる)
 - 武帝期…… 司馬遷 「史記」
 - 後漢 …… 班固 「漢書」
- ▶ 工芸…… 紙 の発明
AD.100 頃、宦官 蔡倫 による (これ以前にも紙はあったが包装用だった。)

第3章－1. 内陸アジア遊牧民

- ①. BC 6 c. スキタイ 人 (イラン系) ……南ロシア、遊牧騎馬文化、金属器文化
- ②. BC 2 c. 匈奴 (トルコ系 or モンゴル系)
(前漢) 全盛期……冒頓単于 (位 209-174.BC)
甘肅地方から月氏を追い、シルクロード制す
↓
月氏 ……甘肅から追われ → さらに烏孫に追われ (※月氏の西遷)
→ 大月氏国 (BC.140-AD.1c)
烏孫 ……天山山脈北側
- ③. 2～4 c. 鮮卑 (モンゴル系 or トルコ系)
(後漢～三国) 五胡十六国時代に南下し中国侵入。華北制圧し北魏を建国
- ④. 5 c. 柔然 (モンゴル系)
(南北朝)
- ⑤. 6～7 c. 突厥 (トルコ系)
(隋・唐初期) 中央アジアからモンゴル草原にわたる大帝国→東西分裂
- ⑥. 8 c. ウイグル (トルコ系) 安史の乱の際、唐を助ける
(唐後期) ↓
840年、キルギス(トルコ系)の攻撃で滅ぶ

第3章-2 中国の分裂 (“門閥貴族”の時代)

(1). 後漢の滅亡

184 黄巾の乱以後＝歴史物語「三国志」の時代

189 袁紹、宦官を誅殺。その直後、山西より董卓が入洛し首都洛陽制圧。

192 董卓、部下の呂布に殺され関中混乱。曹操挙兵。

196 **曹操**、献帝を許に擁す。**屯田制**開始。

200 官渡の戦い……曹操、袁紹を破る。

208 **赤壁の戦い**……**孫権・劉備**の連合軍、曹操を撃退。

214 劉備、成都に入る。天下三分。

220 **曹操** (155-) 死去。子の曹丕、後漢の献帝より**禅譲**を受ける。後漢滅亡。

(2). 三国時代

◆ **魏** (220～65、洛陽) …… **曹丕** (文帝)

大將軍 司馬懿 (仲達、179-251)

官吏任用制度……**九品中正** (220、→後述)

土地制度…… **屯田制**

後漢末の混乱で人口減少 → 土地に労働力を割り当て生産向上図る

◆ **蜀** (221～63、成都) …… **劉備** (161-223、昭烈帝)

丞相 諸葛亮 (孔明、181-234、「出師之表」)

234 五丈原の戦い……魏 (司馬懿) VS 蜀 (諸葛亮)

諸葛亮、陣中に病死→「死せる孔明、生ける仲達を走らす」

263 魏、蜀を滅ぼす。

◆ **呉** (222～80、建業) …… **孫権** (182-252、大帝)

(3). **晋** (西晋、265～316) …… **司馬炎** (武帝、265-90)、首都 **洛陽**

280 呉を滅ぼし全国統一。

<土地・税制>…… **占田**・**課田**法 (280 統一後)

占田 (身分に応じて土地所有制限)、課田 (耕作ノルマ)

おそらく、所有地面積が「課田」の分に満たない者には不足分を支給。

(できるだけ多くの労働力を土地に割り当てるため)

田租は、実際に耕作した面積に関係なく「課田」の分だけ徴収。＝貴族に有利

<内>中央集権化せず、一族を各地の王に封建する。

290～306 **八王の乱** ……部下の貴族に操られた諸王の権力闘争

<外>異民族の侵入

311～16 永嘉の乱……山西の匈奴が、洛陽・長安を陥落さす。

316 西晋滅亡、晋室は江南へ逃れる。

(4). 江南の漢人貴族国家～南朝

東晋 (317～420) …… 司馬睿 (元帝、317-22)、首都 建康 (南京)
華北からの亡命名門貴族中心の国家。華北から江南へ人民大移動。



南朝 …… 宋 (420-79) → 齊 (479-502) → 梁 (502-57) → 陳 (557-89)
建康を首都に4つの王朝。門閥貴族全盛期

※ 九品中正 (九品官人法, 220年、魏が制定した官吏登用制度)

一品から九品の9ランクに全ての官職を位置づける (官品相当の制)
各地に中正官をおき、人物の郷評を調べ、品状を提出させる

状 …… 推薦理由、父祖の地位等を記す内申書
郷品 …… 一品から九品、その人物がどこまで出世可能かを示す
→ まず郷品から四品下の官職に任命される

↓

“門閥貴族” の確立 …… 「門地二品」 = 郷品において二品を与えられる家柄が固定
王氏 (琅邪臨沂)、謝氏 (陳郡陽夏)、范氏 (涖陽) etc.
「上品に寒門なく、下品に勢族なし」

(5). 華北の異民族国家～北朝

▶ 五胡十六国 時代 (304～439) …… 華北に異民族による多くの国家が興亡

五胡 …… 匈奴・鮮卑・羯 (北方系), 氏・羌 (チベット系)



▶ 北魏 (386～534) …… 鮮卑の拓跋氏、首都・平城。439 太武帝が華北統一。

孝文帝 (471-99) …… 漢人官僚の意見を入れ、農耕社会の安定を図る

- 485 均田制 …… 農民に土地を支給し、租・調などの税を課す
生産回復のため 奴隸・耕牛にも土地支給 (→ 貴族に有利)
(→ 隋唐では奴隸・耕牛へは支給せず)
- 486 三長制 …… 戸籍明確化のための隣組制度
1 党 = 5 里 = 25 隣 = 125 家、それぞれ長を置き納税責任
- 493 洛陽 遷都 …… 漢語・漢服、中国風1字姓に改姓
※ 民族のアイデンティティを喪失。北魏は「征服王朝」ではない。

535 北魏、東西分裂 東魏 (535-50) → 北齊 (550-77)
 西魏 (535-57) → 北周 (557-81)

府兵制 …… 西魏の兵農分離制、府兵は課役免除し農民と区別。
↓ (→ 隋唐では同名だが兵農一致の制度になる)

軍人貴族の序列が確立
→ 隋唐の支配階級 (關隴集團)
かんろう

577 北周・武帝、北齊を滅ぼし華北統一
581 北周から隋に禪譲

(6). 南北朝の文化＝ 六朝文化

江南の貴族文化（六朝＝吳・東晋・宋・齊・梁・陳）・・・門閥貴族自身が文化人
宋以後は軍人皇帝が下級官僚と結びついており、貴族は實際政治からは遊離

※ 清談 の風・・・老莊的無為を尊ぶ風潮（タテマエの世界では儒学重視）
「清」の概念の究極・・・魏晋期の「竹林の七賢」（阮籍など）

- ▶ 詩文・・・形式重視＝ 四六駢儷体（4字句・6字句を好む、対句の多用 etc.）
 - ・ 梁の 昭明太子（蕭統 501-31）・・・「文選」（当時の名文集）を編纂
 - ・ 謝靈運（385-433）
 - ・ 陶淵明（陶潜）（365-427）・・・田園詩人、「歸去來辭」「桃花源記」
 - ▶ 書道・・・ 王羲之（307-65、「蘭亭序」、「書聖」）
 - ▶ 絵画・・・ 顧愷之（344-405、「女史箴図」、「画聖」）
 - ▶ 仏教・・・漢代に伝来 → 4世紀の社会混乱の中で一般に広まる
 - ・ 西域の僧 仏図澄（ブトチンガ、?-348）・・・310 洛陽に来る
鳩摩羅什（クマーラジーヴァ、344-413）・・・亀茲王の甥
長安に来て經典を漢訳
 - ・ 東晋の僧 法顕（337-422）・・・グプタ朝のインドへ
陸路インドへ、海路帰国。旅行記「仏国記」
 - ・ 仏教遺跡・・・ 雲崗 ・ 竜門 ・ 敦煌 etc.の石窟寺院
 - ▶ 道教・・・ 寇謙之（363-448）
民間信仰の組織化、道観＝道教寺院の設立
- ※ 廃仏・・・仏教に対する道教勢力の巻き返し
三武一宗の法難・・・道教と結びついた皇帝による仏教弾圧
北魏・太武帝（446）、北周・武帝（574-5）
唐・武宗（845）、後周・世宗（955）